

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 大学政策課											
	作成責任者	岸本 範義											
	事業名	福知山公立大学運営費交付金事業											
	会計情報	款	教育費	項	大学費	目	大学振興費	会計	一般会計	事業コード	660105	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	「知の拠点」整備構想											
	根拠法令等	公立大学法人福知山公立大学運営費交付金交付規則											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立大学法人福知山公立大学の基本理念である「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」の実現に向けて、業務遂行にかかる財源として運営費交付金を交付することにより、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図ることを目的とする。					
	対象者	福知山公立大学生及び教職員	対象者数	405	単位あたりコスト	698.7	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	公立大学法人福知山公立大学の運営に必要な経常経費を運営費交付金として交付した。 《平成30年度内訳》 経常経費分 199,000千円(入学定員が少ない当面の間に発生する経常赤字を補填) 地方交付税措置分 83,104千円					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
	交付金	運営費交付金			282,104		
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	309,812	307,080	282,104	279,248	
	②補正予算					
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
予算と執行の状況 (財源内訳(①③④内訳))	一般財源	309,812	307,080	282,104	220,248	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	59,000	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.17/0	0.1 / 0	0.11 / 0	0.11 / 0	
	⑤概算人件費	1,360	800	880	880	
	⑥総事業費 (③+②+③+④+⑤)	311,172	307,880	282,984	280,128	
	⑦執行額	309,812	307,080	282,104		
	執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標		
		全就職者に占める北近畿地域への就職者数	人	7/25	6/25	6/19	/	65		
	大学運営の健全化(収支不足額の削減)	百万円	276/276	258/258	199/199	/	124	0		
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標			
			入学定員増加	人	120/120	120/120	132/120	/	200	200
			単位あたりコスト		2581.8	2559.0	2137.2			
			志願者数増加	人	926/600	761/600	665/600	/	600	600
	単位あたりコスト		334.6	403.5	424.2					

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地方独立行政法人法第42条の規定により、法人の設立団体である本市のみが実施することができる代替性のない事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・設立時から当面の間は地方交付税及び福知山市一般財源で賄うことを踏まえ、法人においては徹底した支出抑制と収入確保に努めており、市からの負担金を最小限に抑えている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・北近畿地域において、地域課題解決に向けたアンケート調査・分析、フィールドワーク等を行ったことにより、学生の課題解決力、コミュニケーション力等といった社会人基礎力の涵養につながったとともに、地域活性化に向けて地域住民からの期待も徐々に高まっているため、有効性が高い。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>教育研究活動においては、福知山公立大学の特色である「地域協働型実践教育研究」に取り組み、地域課題の解決に寄与した。また、福知山市をはじめとする北近畿地域において多くのフィールドワークを実施したほか、北近畿地域の行政職員等が講義を行う「グローバル特別講義Ⅰ」など、特色ある科目配置を行うとともに、各教員による地域の企業等と連携した研究活動に取り組んだ。</p> <p>学生確保の面では、公立大学法人と福知山市が連携して全国1,100校以上(延数)の高校を訪問して大学の周知に努め、665人の志願者(志願倍率5.5倍)を獲得することができた。</p> <p>成果実績「全就職者数に占める北近畿地域への就職者数」の最終目標は福知山公立大学入学1期生の状況を踏まえ設定するため空白とする。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>引き続き福知山公立大学を支援し、教育研究活動の充実、学生確保に向けた募集活動、さらには外部資金の獲得やコスト削減による業務改善を通じて公立大学の財務基盤の強化に取り組んでいく。</p> <p>また、福知山公立大学の中期目標前文に掲げる「地域で学び、地域で働く」という人材循環システムの構築に向けて、北近畿地域への若者定着に向けて就職支援に取り組む必要がある。</p>		

庁内及び外部による評価(二次評価)	所見	
	【行革担当課記入】	

三次評価(外部評価)	所見	
	【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 大学政策課											
	作成責任者	岸本 範義											
	事業名	福知山公立大学就学生支援事業											
	会計情報	款	教育費	項	大学費	目	大学振興費	会計	一般会計	事業コード	660106	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020501	施策名	地域の将来を担う人材を育成する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	福知山公立大学入学支援金支給要綱、福知山公立大学奨学金支給要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山公立大学に入学し、または在学する者の修学意欲の向上を図るとともに、経済的理由により修学が困難である者に入学支援金・奨学金を支給することにより、社会に有為な人材の育成を図ることを目的とする。また、奨学金事業の創設を通して、福知山公立大学の教育環境の充実を図ることにより、志願者の増加を目指す。					
	対象者	福知山公立大学生	対象者数	366	単位あたりコスト	17.4	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
	委託先・実施主体等						
	事業概要	【福知山公立大学入学支援金】 ・新入学生及び新規編入学生を対象に入学時1回限り支給。所得制限、住所要件あり。 ・支給額：30,000円～282,000円/年 【福知山公立大学奨学金】 ・1回生から4回生までを対象に最長4年間支給。所得制限、住所要件、成績要件あり。 ・支給額：10,000円～20,000円/月					

主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)
	扶助費	福知山公立大学入学支援金	782
	扶助費	福知山公立大学奨学金	1,560
関連事業			

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	3,762	3,624	6,360	4,162	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	2,327	△ 1,440		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	2,578	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	3,762	5,951	2,342	4,162	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁

人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.17/0.22	0.14 / 0.19	0.13 / 0.17	0.13 / 0.17
⑤概算人件費	1,910	1,595	1,465	1,465	
⑥総事業費 (1+2+3+4+5)	5,672	7,546	6,385	5,627	
⑦執行額	1,900	5,088	2,342		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	50.5%	85.5%	47.6%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		制度利用し就職に至った人数	人	1/1	0/0	0/0	/	制度利用者全員
		志願者数増加	人	926/600	761/600	665/600	/ 600	600
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		入学支援金利用者数	人	8/24	26/21	9/28	/ 11	制度条件に合致する学生全員
		単位あたりコスト		237.5	195.7	260.2		
		奨学金利用者数	人	5/12	19/9	11/27	/ 22	制度条件に合致する学生全員
	単位あたりコスト		380.0	267.8	212.9			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・教育の機会均等を図り、社会に有為な人材の育成を図るという制度趣旨や福知山市民数を増加させるという観点を踏まえると、法人設立団体である本市が実施することが望ましい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・市内高校生の進学率の向上、また市内高校生に対する優遇措置を図る観点から、市外出身者より市内出身者の奨学金額を高く設定している。 ・平成31年度に本市の就学援助制度の所得基準制度と整合を図る。(生活保護基準1.5倍⇒1.3倍に見直し)
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・成果目標については、制度利用者のうち就職対象者(4回生)数を設定している。 ・給付型奨学金を導入していることについて、各高校から高い評価をいただいている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	経済的な理由により修学が困難な学生に対し、入学支援金・奨学金を支給することにより、修学意欲の向上や自己実現支援を図ることができた。また、学生募集活動に際しても、各高校から本制度を高く評価する声を多く受けている。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・本奨学金は、対象学生及び保護者の教育費負担を低減するとともに、本市への転入を前提条件としていることから市民数の増加にもつながる効果的な施策である。寄附金を財源として事業を運営し、市のふるさと納税でも本制度への支援を重点的に呼びかけており、学生を市と市民が支える仕組みとしては一定の意義がある。 ・国における高等教育無償化制度の動向等を見据えながら、本奨学金の継続の必要性を検討する必要がある。 		

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 大学政策課											
	作成責任者	岸本 範義											
	事業名	「知の拠点」推進事業											
	会計情報	款	教育費	項	大学費	目	大学振興費	会計	一般会計	事業コード	660107	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020503	施策名	市民一人ひとりの自己実現と生涯学習を促進・支援する								
	開始年度	平成30年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	「知の拠点」整備構想											
	根拠法令等	福知山公立大学「知の拠点」推進事業交付金交付要綱											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山公立大学が北近畿地域における様々な課題解決に向けたシンクタンク機能を発揮するとともに、市民の「知の拠点」の役割を果たすため、地域連携・地域協働を推進するための取組を支援する。 また、平成32年度開設を目的とする新学部設置業務を支援する。					
	対象者	福知山公立大学生	対象者数	366	単位あたりコスト	449.9	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (間接交付)					
	委託先・実施主体等	公立大学法人福知山公立大学					
	事業概要	・北近畿地域の地域住民、行政機関、金融機関、企業、各種団体等との連携拠点である北近畿地域連携センター(愛称:Kita-re)の地域連携事業費、京都北部地域連携都市圏や兵庫県朝来市・丹波市との地域連携事業費を支援し、地域協働・地域連携活動を推進した。 ・新学部設置認可申請に向けて福知山公立大学において新学部設置準備委員会を立ち上げて検討を行い、平成31年3月に認可申請書を提出した。 ◆地方創生推進交付金:補助率1/2					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
		交付金	1号館改修設計業務			19,371	
交付金		新学部設置準備業務			15,000		
交付金		3号館改修設計業務			10,563		
交付金		京都北部地域連携都市圏地域連携事業(公開講座等)、まちかどキャンパス運営事業			10,000		
交付金	朝来市・丹波市との地域連携事業			6,200			
関連事業							

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
配当予算	①当初	0	31,294	181,816	25,708
	②補正予算			607,028	
	③流充当額	0	0	0	
	④繰越額計	23,730	0	△ 635,000	635,000
	前年度繰越		0	0	635,000
	次年度繰越		0	△ 635,000	0
予算と執行の状況 (財源内訳①③④内訳)	一般財源	0	8,594	0	0
	国支出金	23,730	11,350	15,600	11,600
	府支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	719,700	603,200
	その他特財	0	11,350	53,544	45,908
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.28/0.05	0.4 / 0.03	1.29 / 0.2	1.29 / 0.2	
⑤概算人件費	2,365	3,275	10,820	10,820	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	26,095	34,569	164,664	671,528	
⑦執行額	23,730	31,294	153,591		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	100.0%	100.0%	99.8%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		地域と大学の連携取組数(包括協定締結数)	件	4/10	6/10	15/10	/	達成	10(累計)
	新学部設置認可申請書提出			/	/	提出/提出	/	認可	
	新学部設置認可							新学部設置認可	
業績指標	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標	
		福知山公立大学への社会人向け講座受講者数	人	990/100	1604/200	1598/300	/	400	1500(累計)
		単位あたりコスト		—	—	38,398			
		新学部設置準備委員会	回	/	/	10/10	/	8	18(累計)
	単位あたりコスト		—	—	15,359				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・北近畿地域連携センターは北近畿地域の地域連携拠点施設であり、福知山公立大学が北近畿地域の地域創生、地域活性化の役割を果たすために欠かすことができない優先度の高い事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・国の財源（地方創生推進交付金）を活用し、一般財源負担を最低限に抑えている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・地域連携事業である公開講座の多くで概ね定員を満たす参加があった。 ・北近畿地域連携シンポジウム、地域創生セミナーをはじめとする様々な公開講座において他の大学・各種団体から講師を招き、幅広い分野の学びの場を提供した。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>・北近畿地域（福知山市、京丹後市、舞鶴市、養父市、豊岡市）を舞台とする北近畿地域連携シンポジウム、地域創生セミナーなど様々な地域連携事業を通じて北近畿地域の行政機関、教育機関、企業、各種団体等とのネットワークを形成した。</p> <p>・様々な地域連携事業を通じて今後さらなる連携を図っていくことを目的として、福知山公立大学は京都府、京都府北部4市2町（舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、与謝野町、伊根町）、兵庫県丹波市、朝来市が包括協定を締結した。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>地域連携拠点である北近畿連携センターの情報を大学ホームページや情報誌等を活用して積極的に発信し、地域住民並びに北近畿地域の企業、行政、各種団体等による利用を促進するとともに、京都府北部や兵庫県北部を対象とした地域連携事業の積極的な展開、さらには各種イベントの全国発信を継続的に実施することで、北近畿地域はもとより全国に福知山公立大学の存在感を高めていく。</p>	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額への反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	市長公室 大学政策課											
	作成責任者	岸本 範義											
	事業名	大学振興一般管理事業											
	会計情報	款	教育費	項	大学費	目	大学振興費	会計	一般会計	事業コード	660108	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	020502	施策名	産・官・学が連携し地域産業の振興と雇用創出による賑わいを創出する								
	開始年度	平成28年度											
	終了予定年度	平成32年度											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	地方独立行政法人法、公立大学法人福知山公立大学評価委員会条例											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	公立大学法人福知山公立大学の設置者として、地方独立行政法人法第25条第1項に規定する中期目標に基づき、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るための施策の展開、適切な執行の管理・監督等を目的とする。										
	対象者	福知山公立大学及び北近畿市町住民	対象者数	551,788	単位あたりコスト	0.0						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	・公立大学法人福知山公立大学評価委員会の運営 ・志願者確保に向けた学生募集活動 ・国、府、他市町との協議調整 ・産学官連携体制の構築に向けた近隣市町・企業等との連携事務 ・公立大学法人福知山公立大学の広報支援事務										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		報酬	福知山公立大学評価委員会委員報酬、福知山市高等教育施策に係る特別顧問報酬							3,900		
		旅費	福知山公立大学評価委員会委員実費弁償、福知山市高等教育施策に関する特別顧問実費弁償、大学政策課職員旅費							1,659		
		需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費							258		
		使用料及び賃借料	駐車料・高速道路等通行料							202		
役務費、備品購入費、負担金及び交付金		郵送料・電信・電話料等(118)、モノクロレーザープリンタ(122)、平成30年度全国公立大学設置団体協議会会費(20)							261			
関連事業												

区分	H28		H29		H30		R1		R2要求額		
	①当初	3,200		2,174		4,840		4,520			
②補正予算					0						
③流充用額	0		1,918		1,440						
④繰越額計	0		0		0		0				
前年度繰越			0		0		0				
次年度繰越			0		0		0				
財源内訳(①③④内訳)	2,042		2,934		5,111		3,351				
一般財源	0		0		0		0				
国支出金	0		0		0		0				
府支出金	0		0		0		0				
地方債	0		0		0		0				
その他特財	1,158		1,158		1,169		1,169				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称					種類			実績金額		
	特財名称					種類			実績金額		
人件費	3.38/0.73		2.1 / 0.73		1.69 / 0.63		1.69 / 0.63				
⑤概算人件費	28,865		18,625		15,095		15,095				
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	32,065		22,717		21,375		19,615				
⑦執行額	1,945		4,092		6,280						
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	60.8%		100.0%		100.0%		0.0%				

成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	大学運営の健全化(収支不足額の削減)	百万円		276/276	258/258	199/199	/ 124
志願者数の増加	人		926/600	761/600	665/600	/ 600	600
活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
	評価委員会開催回数	件	3/4	3/4	4/4	/ 4	4
		単位あたりコスト	648.3	1364.0	1570.0		
	高校訪問回数	件	232/200	113/100	83/100	/ 70	大学単独で実施
	単位あたりコスト	8.4	36.2	75.7			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・評価委員会は地方独立行政法人法第11条の規定による法定事務であり、また本事業は法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るために必要な事業である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・評価委員会委員への報酬及び実費弁償は、本市条例に基づく適切な金額である。 ・高校訪問を公用車で行うことにより、より多数の高校を効率的に訪問できるとともに、職員出張旅費を最小限に抑えることができている。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・志願者数は、他の国公立大学(人文・社会)と比して平均的な数値目標を設定している。 ・大学と市が協力して高校訪問を行うことにより、高校側に好印象を与え、志願者増に繋がっており、投入資源に見合っている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>・当初目標600人を超える665人もの志願者(達成率110%)があり、昨年度、一昨年度の高い志願者数(平成29年度926人、平成30年度761人)を受けた受験生の敬遠の影響もある中、3年連続高い志願者倍率を確保し、適切な大学運営ができていたことは大いに評価できる。</p> <p>・公立大学法人福知山公立大学にとって2回目となる業務実績評価を実施し、公立大学法人福知山公立大学評価委員会から「中期計画の達成に向け概ね順調に進捗している。」との評価を受けた。</p> <p>・大学政策課において83校の高校訪問を実施するとともに、京都府公立高校校長会等の場において理事者から福知山公立大学について情報発信を行うなど、大学周知に努めることができた。</p>		
今後の課題及び方向性	<p>・公立大学法人福知山公立大学評価委員会の評価結果を踏まえ、法人と連携を取りながら、評価結果を分析し、平成31年度以降の業務に的確に反映していくよう指導・助言する。</p> <p>・2020年4月開設を目標とする福知山公立大学新学部開設業務及び入学定員200人の実現に向けて、今後も引き続き法人と協力し、志願者確保に向けた学生募集活動を展開するとともに、福知山公立大学生の北近畿地域への定着に向けて、企業訪問、インターンシップ等のキャリア支援活動を実施する。</p>		

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

来年度方針